

- 1 ねらい
学ぶ意義や学びの必要性に気付き、当面の努力目標を設定する。
- 2 準備
教師 プランニングシート、製本テープ、掲示用プランニングシート、思考補助シートD
掲示用キャリアプランニングプロセス、掲示用思考補助シートD
生徒 総合ファイル、プランニングシート
- 3 評価方法 プランニングシート、授業中の様子 (観察)
- 4 展開

学 習 活 動	学習への支援及び支援上の留意点 (<input type="checkbox"/> は発問)	分	シート
<p>次のステップに進むために必要な努力点を、具体的にまとめる。 (例)新聞記者なら...</p> <p>必要な力は... 文章を書く力 そのためには... 国語の授業を真剣に受ける 漢字の読み書きを重視する 作文の力をつける さらに具体化して... 思いついたらすぐノートに書く いい表現を見つけたら教科書にアンダーラインを引く 毎日10個ずつ漢字練習をする 新出漢字と復習を1日おきに練習する 新聞に毎日目を通し、気になる記事へのコメントを10行以上書く 毎月3冊は本を読む</p>	<p>自分がこれからどんなことを頑張っていったらよいか。やるべきことをはっきりさせよう。</p> <p>思考補助シートDを返却し、プランニングシートを配付する。</p> <p>(1)思考補助シートDに挙げた中から、重視する能力や知識を3つに絞り、プランニングシートCの赤枠内に記入する。(長期目標) (2)赤枠内の能力や知識をつけるために、具体的にやるべきことを設定し、青枠内に記入する。(短期目標)</p> <p>の順で考えること(記入の仕方も含めて)を、2枚の掲示用資料(補助シートD・プランニングシート)を使いながら説明する。 左記の例(新聞記者)を用いて、努力点を具体化する視点を与える。</p> <p>思考補助シートDが未完成な者については、そちらの完成を優先するとともに、活動の説明終了後、教師が個別に支援する。</p> <p>生徒の思考中は自己決定を促す個別支援を行う。</p>	25	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center;">思 D</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center;">プ</div>
<p>今の学びに対して努力する意義を、自分の言葉で表現する。</p> <p>書けた生徒は製本テープを使って、プランニングシートをつなぐ。</p>	<p>学ぶことの必要性、学ぶ理由(自分の考え)、やる気(意欲)などを、自分の言葉で表現してみよう。</p> <p>すぐに表現できない生徒も多いと思われるが、やらされる学びでは持続しないし効果も薄いことを伝え、自己決定や自己表現の大切さを強調しながら、個別に支援をする。</p> <p>・夢に向かう今の自分の意気込みを言葉にする。 ・プランニングシートに書かれた「夢や仕事」を再確認させ、今をがんばることが、将来とどう結び付くのか説明する。</p> <p>3枚のプランニングシートをつなげることにより、(左から右に向かって)将来を見通す設計図が完成したことを説明する。 将来設計図は授業後回収し、教育相談(三者面談)時に活用する。</p>	20	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center;">プ</div>
<p>今回の学習を振り返る。</p> <p>キャリアプランニングプロセスについて知る。</p>	<p>今回の学習のねらいは、 夢や職業、至る道筋、努力目標などを自己決定すること。 生涯にわたって、自己のキャリアをデザインする方法を知ること。 の二つであったことを伝える。 上記については、キャリアプランニングプロセスの考え方に則り、 今までの自分を振り返る 興味・価値観・能力に照らして、夢や職業を設定する 様々なメディアを用いて、そこまでの道筋を調べ、選択する 何について、どう(努力)していくのが決定する という、キャリアデザインの体験をした、という点を確実におさえる。 最後に...、「この先、人生の節目節目で自己決定が必要になる時には、自力でこのような方法を活用しながら道を切り開いていって欲しい」ことを伝える。</p>	5	

- 5 評価
学ぶ意義や学びの必要性に気付き、当面の努力目標を設定できたか。